



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、 厚く御礼申しあげます。

さて、当社グループは2023年9月30日をもちまして、 第102期中間期を終了いたしましたので、ここに事業の 概況並びに中間決算の結果につきましてご報告申し あげます。

2023年12月

# 代表取締役社長 日野宏昭

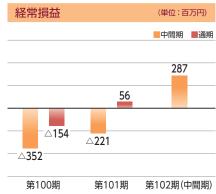
# 新中期経営計画「人財戦略・事業戦のもと、直面する社会や環境の様々

当中間期(2023年4月1日~2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除され、社会経済活動の正常化が進むことで緩やかな回復が見られるものの、原材料価格の高止まりや不安定な為替相場等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、2023年度から2025年度までの3ヶ年における新中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社会への一翼を担おう!」を策定し、2023年度は連結売上高127億円、連結売上高営業利益率2.1%の達成を目指し、重点課題である「事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)」及び「組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)」並びに「ライフサイクル型事業の推進」及び「サステナブル新商品の創出」に取り組んでまいりました。

機器装置事業につきましては、熱処理炉等のサーモ







# 略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社会への一翼を担おう!」 な課題に取り組んでまいります。

デバイス機器は売上が低調に推移しましたが、エアハンドリングユニット等の空調機器は旺盛な建設需要を背景に好調に推移し、当事業の売上高は34億7千7百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

素形材加工事業につきましては、主要顧客の在庫調整が進み需要が増加したことで鋳造品の売上が好調に推移し、当事業の売上高は9億2千万円(前年同期比4.7%増)となりました。

サービスエンジニアリング事業につきましては、有料サービスが好調に推移し、当事業の売上高は17億1千9百万円 (前年同期比12.8%増)となりました。

その結果、当中間期における当社グループの売上高は61億1千7百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

損益面では、営業利益は1億8千2百万円(前年同期は 営業損失2億9千9百万円)、経常利益は2億8千7百万円 (前年同期は経常損失2億2千1百万円)、親会社株主に帰属 する中間純利益は1億9千4百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失1億5千4百万円)となりました。

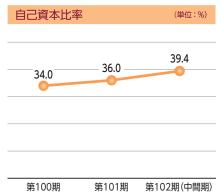
通期の見通しにつきましては、内需主導による経済活動の さらなる回復や雇用・所得環境の改善が期待される一方で、 世界情勢の急激な変化に伴う為替相場の動向や原油高の 進行等により景気が下振れするリスクもあり、経営環境は 予断を許さない状況が続くものと予想されます。

当社グループは、新中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社会への一翼を担おう!」を確実なものとするためにも、今期の業績計画達成に向け全力で取り組む所存でございます。

また、中間配当につきましては、今後の経営環境の見通しや内部留保の充実を勘案し、見送らせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援、 ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。







### 中間連結貸借対照表

科目	当中間期 2023年9月30日現在	前中間期 2022年9月30日現在	<b>前期</b> 2023年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	8,556	8,237	8,639
現金及び預金	2,443	2,407	2,351
受取手形、売掛金及び契約資産	2,422	2,901	2,968
電子記録債権	1,224	772	1,096
商品及び製品	320	265	157
仕掛品	1,493	1,342	1,485
原材料	589	464	534
その他	66	87	48
貸倒引当金	△3	△2	△3
固定資産	7,724	6,688	6,995
有形固定資産	3,359	3,502	3,440
建物及び構築物	976	1,007	1,006
機械装置及び運搬具	531	599	573
土地	1,584	1,584	1,584
リース資産	219	236	230
その他	48	74	46
無形固定資産	52	73	61
投資その他の資産	4,312	3,111	3,493
投資有価証券	4,268	3,067	3,449
繰延税金資産	2	1	1
その他	58	69	61
貸倒引当金	△16	△27	△19
資産合計	16,280	14,926	15,635

	科目	当中間期 2023年9月30日現在	<b>前中間期</b> 2022年9月30日駐	<b>前期</b> 2023年3月31日現在
	(負債の部)			
	流動負債	6,946	7,200	7,202
	支払手形及び買掛金	824	959	849
	電子記録債務	1,798	1,773	2,193
	短期借入金	3,150	3,250	3,150
	未払費用	559	568	445
	未払法人税等	81	39	51
	設備関係支払手形	14	95	25
	契約負債 契約負債	40	96	20
	リース債務	45	44	45
	その他	432	372	421
	固定負債	2,917	2,573	2,798
	長期借入金	275	275	325
	退職給付に係る負債	1,474	1,520	1,518
	繰延税金負債	706	277	471
	リース債務	148	188	170
	その他	312	312	312
2	負債合計	9,863	9,773	10,000
	(純資産の部)			
	株主資本	4,518	4,131	4,365
	資本金	1,641	1,641	1,641
	資本剰余金	1,226	1,226	1,226
	利益剰余金	1,781	1,395	1,628
	自己株式	△130	△130	△130
	その他の包括利益累計額	1,899	1,020	1,268
	その他有価証券評価差額金	2,035	1,136	1,424
	退職給付に係る調整累計額	△135	△116	△155
8	純資産合計	6,417	5,152	5,634
_	負債及び純資産合計	16,280	14,926	15,635

### 1 総資産

前期末に比べ6億4千5百万円増加し、162億8千万円となりました。主な要因は、商品及び製品1億6千3百万円、投資有価証券8億1千8百万円が増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産5億4千6百万円が減少したものです。

### 2 負債

前期末に比べ1億3千7百万円減少し、98億6千3百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債2億3千4百万円が増加した一方で、電子記録債務3億9千4百万円が減少したものです。

### 3 純資産

前期末に比べ7億8千3百万円増加し、64億1千7百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金6億1千万円が増加したものです。

### 中間連結損益計算書

	科目	当中間期 自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日	前中間期 自2022年4月 1日 至2022年9月30日	前期 自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日
4	売上高	6,117	5,611	12,042
	売上原価	4,685	4,671	9,571
	売上総利益	1,432	939	2,470
	販売費及び一般管理費	1,249	1,238	2,533
6	営業損益	182	△299	△63
	営業外収益	129	105	187
	営業外費用	24	27	67
6	経常損益	287	△221	56
	特別利益	1	6	51
	税金等調整前 中間(当期)純損益	288	△215	108
	法人税、住民税及び事業税	68	16	35
	法人税等調整額	25	△77	△6
	中間(当期)純損益	194	△154	78
6	親会社株主に帰属する 中間(当期)純損益	194	△154	78

### 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	科目	当中間期 自2023年4月 1日 至2023年9月30日	前中間期 自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日	前期 自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日
6	営業活動による キャッシュ・フロー	240	△322	△256
	投資活動による キャッシュ・フロー	△34	28	△19
	財務活動による キャッシュ・フロー	△113	△113	△186
	現金及び現金同等物の 増減額	92	△407	△463
	現金及び現金同等物の 期首残高	2,351	2,814	2,814
	現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	2,443	2,407	2,351

### 4 売上高

2023年度に連結売上高127億円、連結売上高営業利益率2.1%の達成を目指し、重点課題である「事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)」及び組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)」並びに「ライフサイクル型事業の推進」及びサステナブル新商品の創出」に取り組んでまいりました。その結果、当中間期における当社グループの売上高は61億1千7百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

### 営業損益・経常損益・親会社株主に帰属する中間純損益

営業利益は1億8千2百万円(前年同期は営業 損失2億9千9百万円)、経常利益は2億8千7百 万円(前年同期は経常損失2億2千1百万円)、 親会社株主に帰属する中間純利益は1億9千 4百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間 純損失1億5千4百万円)となりました。

### 6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は2億4千万円 (前年同期は3億2千2百万円の支出)となりました。 主な要因は、税金等調整前中間純利益2億8千 8百万円及び売上債権の減少額4億1千8百万円 による増加と、仕入債務の減少額4億2千万円に よる減少です。

### 納入実績

# 熱源・給湯製品(福岡大名ガーデンシティ/ザ・リッツ・カールトン福岡)

福岡市の再開発促進事業「天神ビッグバン」の一環として建設された都市発展の象徴となる施設に、当社の真空式温水ヒーター (エルゴン)が採用されました。





(撮影協力 福岡大名ガーデンシティ)

### 納入実績

# 都市景観製品(岐阜県多治見駅前ペデストリアンデッキ)

岐阜県多治見市の駅南地区再開発事業において建設された各施設と多治見駅を繋ぐ歩行者デッキに、当社の特殊型鋼製高欄 (強化ガラスパネル+手摺付)が採用されました。







_	<del>-</del>	<del>L</del> AT	T <del>ab</del>
72	ſĿ	怄	女

等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラーヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋塚用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンラナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計		
創業 1883年10月2日 設立 1933年4月30日 資本金 16億4,100万円 従業員数 376名(連結381名) 主な事業内容 ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット 等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環 温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル 製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋塚 用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売の ほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンラ ナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計	商号	
設立 1933年4月30日 資本金 16億4,100万円 従業員数 376名(連結381名) 主な事業内容 ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット 等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環 温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル 製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋塚 用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売の ほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンラ ナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計	本社所在地	福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
資本金 16億4,100万円 従業員数 376名(連結381名) 主な事業内容 ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット 等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環 温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル 製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋塚 用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売の ほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンラナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計	創業	1883年10月2日
従業員数 376名(連結381名) 主な事業内容 ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット 等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラーヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋瀬用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンラナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計	設立	1933年4月30日
主な事業内容 ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラーヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋須用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンラナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計	資本金	
等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラーヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋塚用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンラナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計	従業員数	376名(連結381名)
血柱・肥工の明只	主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット 等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環 温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル 製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁 用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売の ほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・ 監理・施工の請負

#### 主な事業所

土は争未別	
東京支社	神奈川県川崎市川崎区中島二丁目2番7号
工場	宇美工場(福岡県糟屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(北海道石狩市)
支店	東京(川崎市)、大阪、九州(福岡県糟屋郡)
営業所	札幌(北海道石狩市)、仙台、北関東(さいたま市)、 名古屋、広島、下関、南九州(熊本市)、鹿児島
関係会社	昭和トータルサービス株式会社

### 役員

### 取締役・監査役

474411	血血区			
代表取締	役	日野	宏	昭
取締役		井上		敏
取締役		尾島	孝	則
取締役		執行	貴	洋
取締役		上野	俊	幸
取締役		松尾	利	浩
常勤監査	役	伊達	正	治
監査役		吉田	泰	彦
監査役		本田	隆	茂

#### 執行役員

T/VI J 125-2		
社長CEO	日野	宏昭
常務執行役員	井上	敏
上級執行役員	尾島	孝則
上級執行役員	執行	貴洋
執行役員	名和	正之
執行役員	森	克郎

### 株式の状況

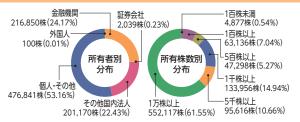
発行可能株式総数	2,400,000株
発行済株式の総数	897,000株
株主数	773名

### 大株主

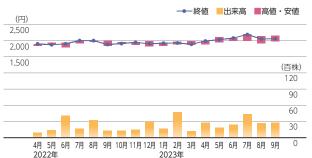
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	38,650	4.69
株式会社西日本シティ銀行	38,500	4.67
株式会社北九州銀行	35,750	4.33
西部ガスホールディングス株式会社	34,500	4.18
西日本鉄道株式会社	29,100	3.53
飯田久泰	26,700	3.24
飯田卓子	25,561	3.10
飯田吉宣	24,088	2.92
渡辺秀一郎	22,200	2.69
稲田好美	19,813	2.40

(注)持株比率は、自己株式(73,018株)を控除して計算しております。

### 株式分布状況



### 株価の推移



株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別□座の □座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国 各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 https://www.showa.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。
単元株式数	100株



ホームページもご覧ください。 https://www.showa.co.jp/

# ●株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増 等のお申し出先について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別 口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払い配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。







